



『活きていることわざ』

船橋市議会議員（無所属・4期）

神田 廣栄（かんだひろえい）市議会報告

【事務所】

船橋市前原西8-24-8

☎047-490-3333

Fax 465-7117

Eメール hiroei@muc.

biglobe.ne.jp

ホームページ http://www.

hiroei.jp

揣摩臆測（しほくそく）・仏作って魂入れず

【揣摩臆測（しほくそく）】◇他人の心中や事情を、あれこれと勝手に推し測る。物事を、しっかりした根拠によらずに推察する。当て推量。

《別表記》「臆測」は「憶測」とも書く。

【仏作って魂入れず】◇仏像を作ったのはいいが、形ばかりで魂が入っていないということ。

《類句》「画竜点睛を欠く」 《同義語》「仏作って眼を入れず」

6月議会の初日に、第60代議長を退任しました。13ヶ月という短い間ではありましたが、「公平・公正」な議会運営を貫いたつもりです。ご支援をくださいました皆様には心より感謝を申し上げます。

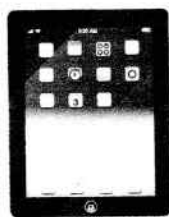
議長という立場上、以前のように、自分自身の思いや感じたことを発信することを謹みました。神田ひろえいという議員の発言ではなく、議長の発言は議会の見解・意見となるからです。

大役を退任した今は、議長の任期中封印してきた分を取り返すべく、市民の皆様のために、そして船橋市のより発展のために「言うべきことは積極的に言う」という姿勢で議員活動に邁進してまいります。

議員に当選してから全ての議会で質問し、皆様の声や私の思いを市政に反映させてまいりましたが、議長職で中断していた議会質問を9月議会から再開いたします。

今号は、6月議会で提案された一般会計補正予算について書きました。また、本紙を以前のように、ことわざや熟語を活用した「活きていることわざ」に戻しました。

さて本題です。議案第1号では「情報システム関連導入費」として、8,015,000円が計上されました。何のことか分かりにくいのですが、簡単に言うと、タブレット端末を議員全員に貸し与えるなど、会議システム導入に関する費用です。議員50人と（私は望んではいなかったと思っている）市長部局や教育委員会など本会議場にいる全員（約100人）に貸与するものです。



タブレットは5年リースとなりますが、この5年間で会議システム導入費全体では約6千万円にもなります。内訳は、タブレットなどのシステム導入費が2793万円。システム使用料が2074万円。運用保守費として518万円。ネットワーク工事費が615万円です。

その初年度分として8,015,000円が補正予算として計上されたのです。

この会議システム導入費は、市長提案となっていますが、議会運営委員会で話が出て、必要なものであると決定し、予算権を持つ市長に対して、議会として補正予算を組んで欲しいとお願いしたものです。市長側は快く受け入れ、今回提案したとは思っていません。



通常、補正予算というものは、年度途中で市民生活にとって必要不可欠な事案が発生したり、不足金が生じた際に提案されるものがほとんどです。今回のように、失礼ながら議会の都合で「補正予算を組んでもらいたい」ということがあってはならないと思いますし、全く**不要不急のことだ**と思っています。

日本共産党の議員が次のような質疑をしました。

◇議会がある市庁舎10階には、既に Wi-Fiは導入されているが、この容量を、さらに大きくする（それに必要な予算は 615万円）必要があるわけだが、市民からは「**議会だけを特別扱いしているのではないか**」と思われないか危惧している。また、市庁舎全体の Wi-Fi環境がまだ検討できない中で、今回、**早急に予算化**をしたのはどういうことか。

市民は怒っているヨ



◇答弁に立った総務部長は「私の方から答弁すべき問題なのか、ちょっと疑問の部分もあるが、議会運営委員会等で導入を決定づけ、早期にということだった。私の方も、それは相当だと判断した」と答えました。

私は、「導入したいと、あなたがた**議会が決めたこと**でないのか」と、不満やる方ないのではないかと、総務部長の心情を『揣摩臆測（しほくそく）』しました。

とはいえ、この件を議会運営委員会で決定した時の議長は私なのです。後日、親しい某議員から「反対だったら、職をかけてでも『議長権限で認めない』と言えば良かったのでは」と言われてしまいました。そうしたら大混乱になっていたと思います。

「議長を辞してから言うのはおかしい」という**批判は甘んじて受けます**が、辞したからこそ自分の意見を述べる事ができたのです。自分の思いは、今流行の言葉で言えば「市民ファーストであり議会ファーストではない」「タブレットが必要だったら、必要と思う人は自分のお金で買いなさい。税金を使うことはない」です。

本会議の最終日の採決に、私は、**反対の意思表示で退席**をしました。採決結果は残り全員が賛成で「全会一致」ということになりました。

可決されたからには、今後、本会議場でタブレットを使用できるわけですが、有効に使用してもらいたいと思っています。まさか、本会議中に暇つぶしに遊んだり、外部とやりとりする議員はいないと信じたいです。ルールも何も決めないで、導入ありきで決めたのです。『仏作って魂入れず』とならないように願いたい。皆様には**不正使用する議員**はいないか、**しっかりチェック**して戴くためにも、是非、**傍聴**にお出で戴きたいと思っています。



議長車についてご報告します。議長車は5年リースで借りています。黒塗りのセダンでした。今年の6月が満了で、借り換えをすることになり、私はこの際、議長専用車ではなく、近隣市などへ、少人数で行く議員視察にも活用できるようにと、ワゴン車に変更したいと提案しました。もちろんリース代も減額になるし、一石二鳥だと思いましたが、議論の結果、議長は何時何があるか分からないので、他の利用は良くないとなりましたが、ワゴン車となりました。この**議長車は公用車**ですから、**私的な利用**はできないことになっています。過去には自身の故郷（東北）に議長車で帰省した議長がいたそうです。他にもまだ私的に利用した議長もいるらしいので、**調査して改めてご報告**いたします。

